

# エビデンスに基づく早期療育モデルが描く未来Vol.2 親子の幸せを科学する地域療育の挑戦

## 第1部 基調講演&地域実践報告

9:45-10:20 実装PJ責任者による成果報告  
「全ての子どもにエビデンスに基づいた療育を  
-親子の幸せを科学する地域療育の挑戦」  
熊 仁美 NPO法人ADDS共同代表



10:20-10:30 プロジェクト30年度総括(山本淳一 教授)



10:30-11:20 基調講演  
「発達障害の早期療育:エビデンスとは何かを考える」  
神尾 陽子 先生  
お茶の水女子大学人間発達教育科学研究科客員教授

11:20-12:00 地域実践報告

山本 崇博 先生 (一般社団法人キッズライン:神奈川)  
安藤 康一 先生 (児童発達支援センターゆーかりの森:兵庫)

## 第2部 専門家による臨床ワークショップ&事例発表



WS-1  
前半:13:00-13:50  
後半:14:05-14:55  
山本 淳一 教授  
慶應義塾大学文学部



WS-2 13:00-13:50  
「ストレングストーク®WS」  
井上 祐紀 先生  
横浜市南部地域療育センター所長

「環境と個人の相互作用を  
ひもとく-問題解決集中WS」

\* WEBによる事前学習有  
\* 前後半は同じ内容



WS-3 14:05-14:55  
「ABAエッセンスで変わる子育て  
-子育て家庭にABAを伝える視点-」  
野崎 晃広 教授  
四国学院大学社会福祉学部

## 第3部 招待講演・パネルディスカッション



15:10-16:05 招待講演&指定討論  
「成人期を見据えた早期支援  
-児童精神科医療の視点から」  
吉川 徹 先生  
愛知県心身障害者コロニー中央病院  
児童精神科 医長



16:05-16:25  
招待講演&指定討論  
加藤 永歳 先生  
厚生労働省  
発達障害対策専門官

16:25-17:35 有識者によるぶっちゃけ! パネルディスカッション  
「親子の幸せを科学する地域療育の挑戦-今までとこれから-」



○パネリスト○  
慶應義塾大学 山本淳一 教授  
四国学院大学 野崎晃広 教授  
横浜市南部地域療育センター 井上祐紀所長  
NPO法人子育てネットくすくす 草薙めぐみ理事長  
児童発達支援センターゆーかりの森 安藤康一先生  
一般社団法人キッズライン 山本崇博理事長  
児童発達支援マルシェ 早良さつき先生  
ぶりんぐあつぷちば子ども発達センター  
小山恵美子施設長 ほか



日時  
会場

2018年

12月2日(日)

9:45-17:45

慶應義塾大学西校舎519<sup>ほか</sup>  
〒108-8345 東京都港区 三田2-15-45

参加費  
無料

第2部同時開催!

EBP早期療育研究会

(evidence-based practice; EBP)

●事例発表ブース

全国の療育機関がブースを出展し、現場での療育支援について事例研究を発表します。



NPO法人  
子育てネットくすくす

●AI-PACやロボット体験ブース

オンラインで発達の把握や課題構成、記録、教材利用等ができる療育支援システムAI-PACやロボットのNAO君を介した人材育成研修の体験ができます。  
(詳細は裏面参照)。



\* 注意事項 \*

第2部は、臨床ワークショップと、EBP早期療育研究会の前後半入れ替え制となります。おひとりにつきご参加頂ける臨床ワークショップは、1つまでとなりますので、ご了承ください。

主催: 特定非営利活動法人ADDS

共催: 慶應義塾大学論理と感性のグローバル研究センター

後援: 厚生労働省



慶應義塾  
Keio University



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare





# エビデンスに基づいて保護者とともに行う 発達障害児の早期療育モデル実装プロジェクト

28年度科学技術振興機構研究開発成果実装支援プログラムに採択された  
応用行動分析（Applied Behavior Analysis; ABA）を軸とした親子エン  
パワメント型早期療育モデルを全国の地域に実装するプロジェクトです。

## 療育支援システムAI-PAC

NPO法人ADDSと慶應義塾大学が共同開発した包括的な早期療育支援システムです。

▶5領域（学習基盤・コミュニケーション・社会スキル・視覚運動・アカデミック）より600個を超える発達カリキュラム

▶徹底的に個に合わせた課題設定

▶タブレットでの記録蓄積

▶発達や支援効果の可視化

▶教材やモデル動画閲覧



## 親子エンパワメント型療育モデル

AI-PACに基づくお子さんへの個別療育を軸に、保護者がお子さんの発達を支援する知識・スキルを学び、よき支援者となることを目的とした通所型個別療育プログラム「べあすく」などを実装します。

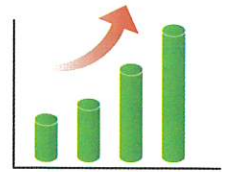
「べあすく」における保護者の療育体験



実装支援

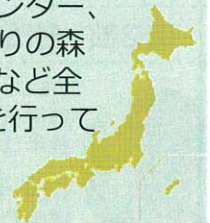
## 研究成果

AI-PACに基づく1年間の早期療育の結果、子どもの知能指数や言語・コミュニケーション、保護者の療育スキルや知識にポジティブな変化がみられました。



## 全国の療育機関へ

横浜市南部地域療育センター、ぶりんぐあっぷちば子ども発達センター、児童発達支援センターゆーかりの森（兵庫）をはじめ、香川、熊本など全国の公/民の療育機関へ実装を行っています。



## 会場にNAO君がやってくる！

ADDSと獨協医科大学が連携して取り組む「発達障害児に対する早期療育のためのロボットとVRを活用した人材育成プログラムの開発事業」の体験ブースを設けます！

\* 第48回三菱財団社会福祉事業ならびに研究助成の支援を受けています



## 主催団体

特定非営利活動法人ADDS

所在地: 〒162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻町543-7NSビル2F

☎:03-6908-7125

代表者: 竹内弓乃・熊仁美

事業概要: 児童発達支援事業・人材育成事業・研究開発事業・普及啓発事業

## プロジェクト実装責任者

熊 仁美 NPO法人ADDS共同代表

慶應義塾大学社会学研究科訪問研究員・博士(心理学)

慶應義塾大学大学院心理学専攻博士課程修了。保護者が家庭で実践できる療育プログラムの研究開発と効果検証を進め、28年度科学技術振興機構研究開発成果実装支援プログラムに最年少で採択。「エビデンスに基づいて保護者とともに取り組む発達障害児の早期療育モデル」の責任者として全国で療育モデルの実装に取り組む。

**お申し込み〆切: 11月25日(日) \* 定員に達し次第締切**

「第2回公開シンポジウム申し込み」と題し、①氏名②お電話番号③ご所属と地域(保護者の場合も明記)④第2部でご参加希望の臨床ワークショップ番号(表面WS-1等)を1つご記入の上、メールにて、addsjisoteam@gmail.com までお申し込み下さい。

\* 臨床WS参加者は事務局で振り分けます。ご希望に添えない場合も変更は承れません。予めご了承ください。